

海も山もまるっと体験

30代までの女性限定モニターツアー

福岡都市圏の人に松浦市の魅力を売り込もうと企画されたモニターツアーの観光客が11月6日と7日、市内各地を巡り松浦市の魅力を満喫しました。

同ツアーは、西日本リビング新聞社と市が企画したもので、福岡市近郊に住む20代・30代の女性28人が参加しました。参加者たちは、鷹島町で市立歴史民俗資料館などを見学した後、海鮮丼などを堪能。漁業体験やさつま揚げ体験などをして同町内に民泊し、翌日は、イモ掘り体験やトラック朝市やコスモス畑の収穫祭などに参加し、松浦市の体験、グルメなどの魅力を満喫しました。

道の駅でツアー客たちを出迎えた松浦市観光協会の小松英史会長は「2日間という短い期間ですが、日本一の水産物や体験型旅行などを満喫していただき、気付いたことがあったらぜひ教えてください」と話していました。



ゴルフ参加費の一部などを寄付

松浦市ゴルフ愛好会

松浦市ゴルフ愛好会（平田昭三会長）が11月8日、市役所を訪れ、第1回松浦市民親睦ゴルフ大会の参加費の一部などを市に寄付しました。

同大会は、スポーツの振興と強健な心身の育成、市民の融和と親睦を目的に初めて開催されたもの。11月3日、佐世保・平戸カントリークラブには、市民や市内の企業から52組約200人が集まりました。

8日に市役所を訪れた平田会長と役員2名は、参加者から集めたチャリティーの12万5千円を友広市長に手渡しました。平田会長は「市民に活用していただけるよう市立図書館の図書購入費などに役立ててください」と話していました。



大きな木の下で地域そろって運動会

上志佐ふれあいの集い

上志佐地区青少年健全育成会議主催の上志佐ふれあいの集いが11月7日、上志佐小学校グラウンドで開催され、輪回し競技やパン食い競争、椅子取りゲームなどで盛り上がりしました。

この集いは、地域交流の一環として毎年開催されています。この日は住民約300人が参加。8地区に分かれてそれぞれの競技に出場し、爽やかな汗を流しました。



九州一周駅伝で好成績

松尾匡易さん

松浦市職員の松尾匡易さん（今福・仏坂、26）が、長崎県代表チームの選手として第59回高松宮賜杯九州一周駅伝大会に出場し、好成績を残しました。

九州一周駅伝には、九州・沖縄・山口の各県代表チームなど9チームが参加。10月29日から11月7日の10日間、長崎市から福岡市までの72区間で健脚が競われました。

松尾さんは3回目の出場。2008年、実業団入りが内定するも、地元で恩返しをしたいという強い思いから松浦市に残り走ることを決意しました。今大会では、自前で作った松浦市役所のロゴの入ったユニフォームを着て松浦市をアピールし、その見事な走りで地元を元気づけました。

【松尾さんの記録】

2日目、5区(11.3*_区)
35分52秒、区間3位
5日目、3区(12.8*_区)
39分06秒、区間2位
9日目、3区(13.0*_区)
41分32秒、区間3位



歌声や演奏を披露

松浦市小・中学校音楽会

平成22年度松浦市小・中学校音楽会が11月10日、文化会館で開催されました。

同音楽会は、音楽に対する関心・意欲と音楽を愛好する心情を高め、心豊かな人間を育成することを目的に毎年開催されています。

この日は、市内の全小中学校19校が参加し、合唱や合奏、吹奏楽部や音楽部による演奏が披露され、集まった観客は熱心に聴き入っていました。また、午前の部と午後の部の最後には、観客も一緒に「夢の世界を」を合唱しました。



福島町の松田さんが小説を寄贈

松田光昭さん

松田光昭さん(福島・里、58)が文芸社から小説「深雪の春」を出版し、3冊を市に寄贈しました。

松田さんは、市内の企業に勤務しながら3年前から趣味でパソコン上で小説を作成。かなりの量になったので出版社に送ってみたところ高評価され、出版することになりました。この小説は、深雪という女性が春を求めていく大人向けのストーリー。

松田さんは「子育てに追われる中でも愛情を持つ母の優しさ、暖かさを感じとってもらいたい。ぜひ大人の女性に読んでほしいですね。機会があれば続きや別の角度から新たなストーリーも考えてみたいです」と話していました。この本は、市立図書館で借りることができ、書店でも購入することができます。



特別支援学級合同体験旅行

松浦ロータリークラブ

松浦ロータリークラブ(犬養義一会長)が、市内小中学校の特別支援学級に通う児童・生徒を11月9日、佐世保市の九十九島水族館「海きらら」に招待しました。

同クラブ新世代委員会では、青少年育成活動の一環として20年以上前から毎年、同体験旅行を実施しています。この日参加したのは、児童・生徒38人と引率者27人。イルカショーを見学したり、ヒトデやヤドカリなどに直接触れたりして楽しい時間を過ごしました。県教育研究会松浦支部特別支援教育部長の久保田美千代鷹島小学校校長は「子どもたちは、水族館に行くことや友達に会えることを大変楽しみにしていました。明るい表情が見られ、とても喜んでいるようです。ロータリークラブの皆さんには大変感謝しています」と話していました。



みんなで火の用心

秋季全国火災予防運動の取り組み

秋季全国火災予防運動(11月9日～15日)にちなんで、防火ポスターの審査会と防火パレードが行われました。

防火ポスターには、市内の小学校7校から156人が応募。審査の結果、最優秀賞、優秀賞、優良賞17点が選ばれ、期間中文化会館のロビーに展示されました。審査結果は次の通り(敬称略)。また、11月9日には防火パレードが市内各地域を巡り、市民に防火を呼び掛けました。

【最優秀賞】 杉村果奈(志佐小)

【優秀賞】 山口菜々子(御厨小)、巖莉緒(同小)、吉元亮太(同小)、泊愛里(同小)、嘉松凌太(田代小)、市山海里(志佐小)、下道冬弥(同小)、熊谷愛依梨(同小)、川本麻貴(調川小)

【優良賞】 榎屋瞳凧(青島小)、鶴崎真依(星鹿小)、小林亜友美(御厨小)、武尾星那(田代小)、森日奈子(志佐小)、山口優人(調川小)、川本智代(今福小)

